りょうかわ

学校だより　令和4年3月24日発行　第17号　新潟市立両川小学校

生きているだけですごいこと

校長　　中村　雅芳

優しくたくましい子どもたちと共に両川小学校で過ごした日々は，私にとって大変幸せな時間でした。保護者の皆様，地域の皆様，これまで子どもたちと両川小学校をお支えいただきありがとうございました。どうかこれからも，変わらぬご支援を賜りますようお願いいたします。

私は３年間，学校だよりやホームページを通じて情報発信に努めてきました。子どもたちによりよく成長してほしいという一心で執筆してきました。自分の心をさらに掘り下げると，出てくるのは「いのちへの絶対的な肯定」です。みんな，生きているだけですごい！と心から思っています。そのきっかけともなった五木寛之『大河の一滴』の一節を以下に割愛してお示しします。これからもますます優しくたくましい子どもたちに成長していくことを心から願っています。

アイオワ州立大学（アメリカ）の生物学者リットマー博士が，面白い実験をしました。それは，30 ㎝四方，深さ 50 ㎝という箱の中に砂を入れて，１本のライ麦の苗を植え，水をやりながら数ヶ月間育てるという実験です。数ヶ月間，ライ麦はその限られた木箱の中でヒョロヒョロとした苗として育っていきます。当然，色つやも良くないし，実もたくさんはついていない，貧弱なライ麦の苗となるのです。その後，木箱を壊し，ライ麦の根にたくさんついている砂をきれいにふるい落とし，一体どれほどの長さの根が 30 ㎝四方，深さ 50 ㎝という木箱の砂の中に張りめぐらされていたかを物理的に計測します。目に見える根の部分は全部ものさしで測り，足します。根の長さだけでなく，根の先に生えた目に見えない細かな根毛まで顕微鏡で詳細に調べ，その長さもみんな調査して，足していくのです。／結果，一本の貧弱なライ麦の苗が数ヶ月間命を育てていく，命を支えていくために，びっしりと張り巡らせていた根の長さの総延長数は何と，11,200 ㎞に達したそうです。11,200 ㎞というと，地球の直径に匹敵する長さです。たった１本の麦が，数ヶ月間，自分の命をかろうじて支えるために，木箱の砂の中に 11,200 ㎞の根をびっしりと張りめぐらし，日々，水とかカリ分とか窒素とかリン酸などの養分を休みなく努力して吸い上げている。それによってようやく，１本の貧弱なライ麦の苗がそこに命をながらえる。命を支えるというのは，そのような大変な営み

なのです。／そうだとすれば，そこに育った，たいした実も付いていない，色つやもよくないであろう貧弱なライ麦の苗に対して「お前，実が少ないじゃないか」とか，「背丈が低いじゃないか」とか，非難したり，悪口を言ったりする気になるでしょうか。「よく頑張って伸びてきたな」「よく命を支えてきたな」と，ライ麦に対する驚嘆の言葉を述べるしかないような気がするのです。／私たち人間というものは，１本のライ麦に比べると何十万倍の大きさや重さを持っています。１本の麦がそうであるならば，私たちも同じように生きていくために，さまざまなものを必要としています。太陽の光，空気，水，熱，あるいは石油など，いろいろなものを使う。それ以外に私たちは，自分よりも弱い生物を犠牲にして食物を得，あるいは動物を食べ，この命を支えている。しかもその仕組みは，私たちが意識しない免疫というレベルまで徹底されているのです。無数の根が張り巡らされ，必死で維持されている命。／そう考えると，誕生以来，一週間生きながらえただけでもすごいことだと思うのです。何十年も生きる私たちは，目に見えないところでどれほど大きな努力に支えられているか。自分の命がどれほど頑張って自分を支えているのか。人間は一生，なにもせず，ぼんやり生きただけでも，ぼんやり生きたと見えるだけでも，実は大変な闘いをしながら生き続けてきたのだと，私は思うのです。／したがって，どんなに辛くても私たちは生きてゆかなければなりません。どんなに辛くても，どんなに嫌でも，自分の命というものを大切にしつつ，この世の中を生きてゆく。生きること自体に値打ちがあるのだと考え，一本のライ麦のように，目に見えない根を全宇宙に張り巡らせながら私たちも生きてゆこう。生きてゆくことを大切にしよう！と私は思うのです。

転出職員あいさつ

校長　中村 雅芳（牡丹山小学校へ）
　３年間お世話になりました。本当に楽しかったです。子どもたちの今後の成長と活躍を心から楽しみにしています。

教諭　齋藤 博美（大淵小学校へ）
　3年間お世話になりました。素直で明るい子どもたちの笑顔や，校舎の窓から見える梨の花が大好きでした。
　４月からは，同じ江南区内の大淵小学校に勤務することになりました。
　両川小学校で学んだことを忘れずに，新任地でも頑張りたいと思います。ありがとうございました。

用務員　渡辺　浩（関屋小学校へ）
　５年間お世話になりました。明るいあいさつの子どもたちと過ごせて，楽しかったです。ありがとうございました。